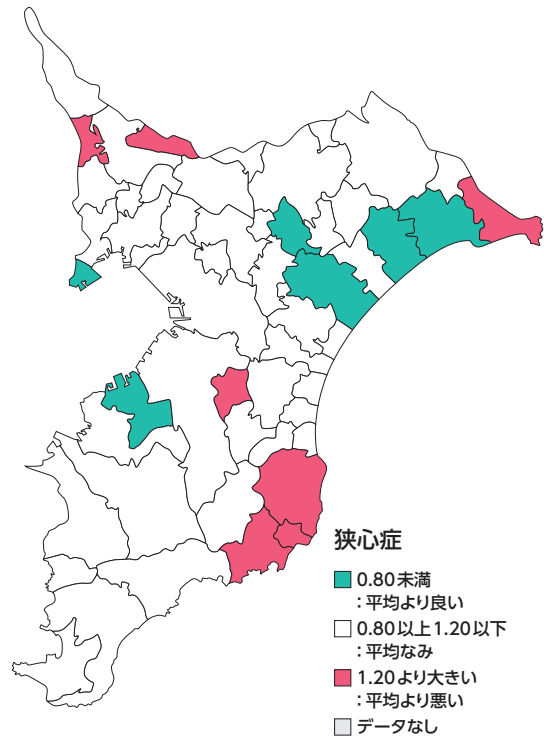
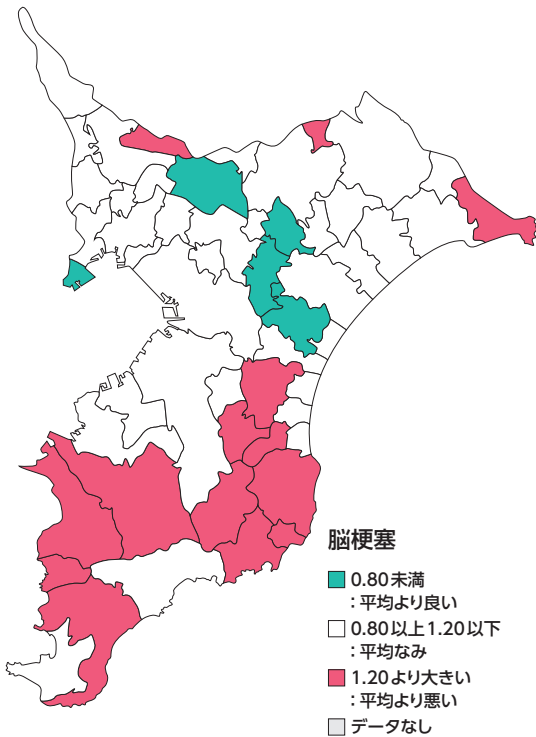
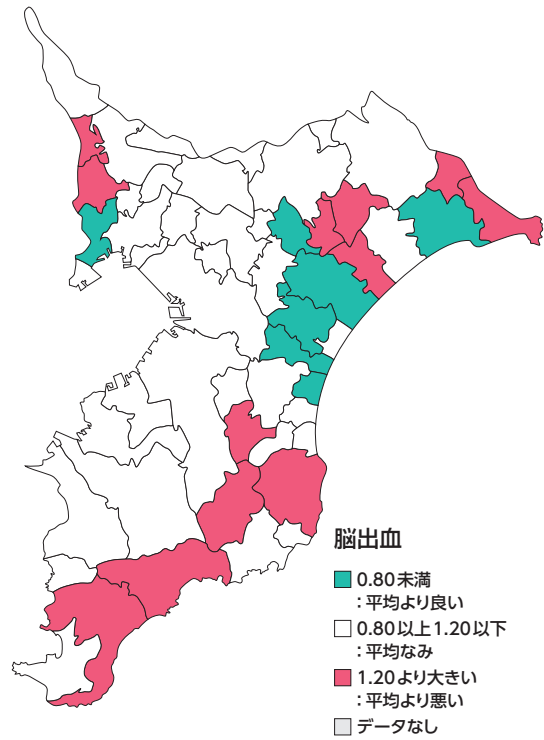
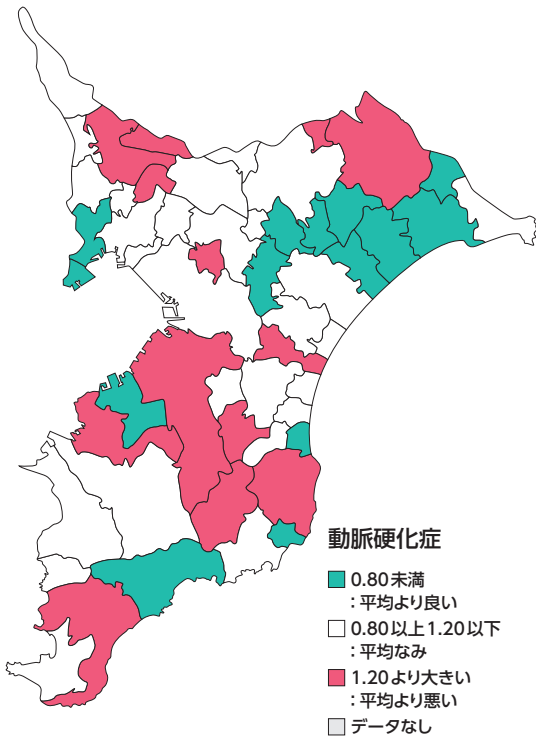
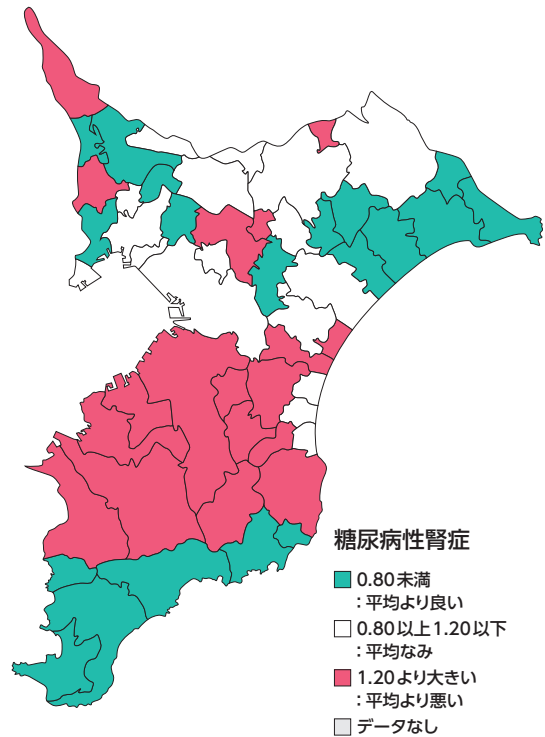
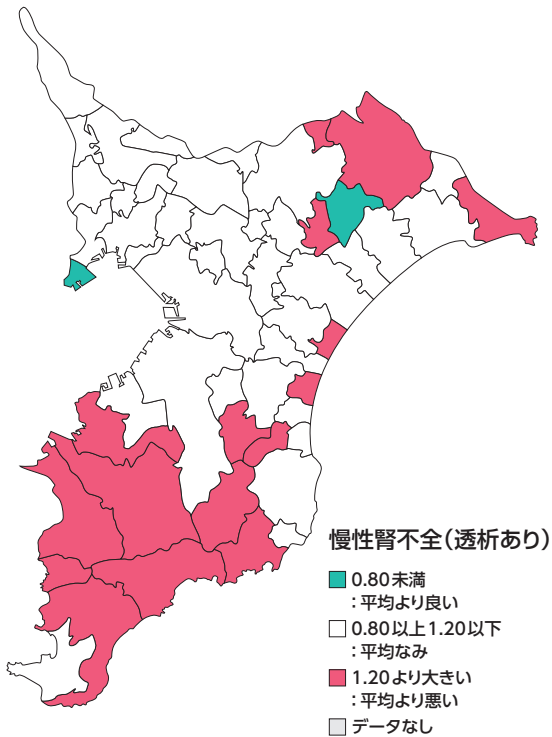
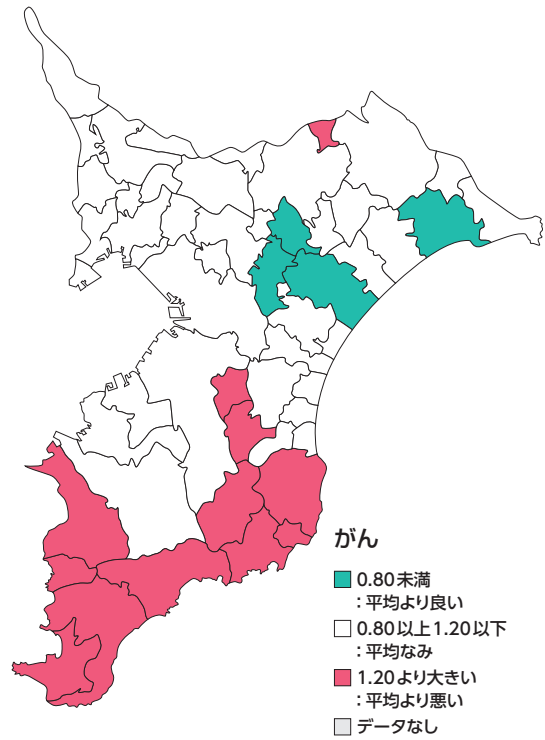
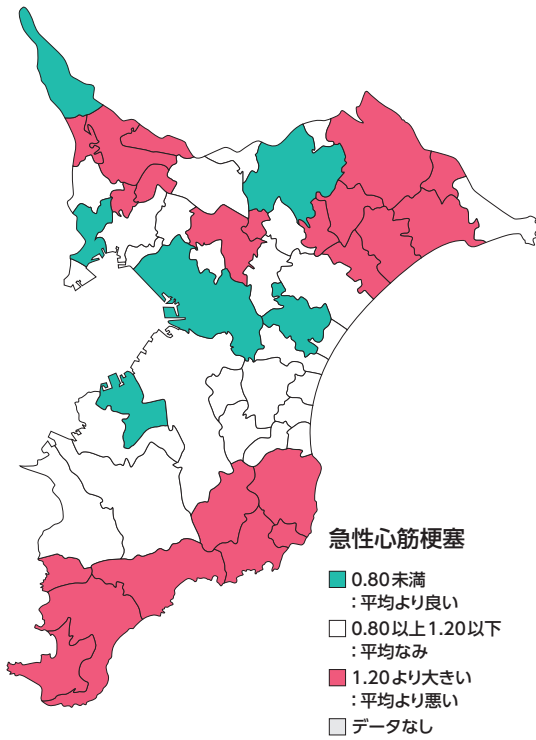


生活習慣病(脳血管疾患・心疾患等)

生活習慣病の受療率を入院医療費から算定し、県を基準集団として標準化することにより地域差を示しました。動脈硬化症、糖尿病性腎症を除く疾患で、安房、山武長生夷隅保健医療圏の南部の受療率がほかの地域と比べ高い傾向にありました。39ページの地図で、安房南部で糖尿病の受療率が高いことが示されていることから、透析が必要な段階で初めて受診される方が多い地域である可能性も否定できません。こうした地域では早期受診に関する啓発や糖尿病重症化予防が重要と考えられます。





生活習慣病(糖尿病・高血圧症・脂質異常症)

外来医療費から糖尿病・高血圧症・脂質異常症の受療率を算定し地域差を示しました。3疾患とも安房、山武長生夷隅保健医療圏の南部でほか地域と比べ高い傾向にありました。ただしこれらの疾患の外来医療費の高さは、生活習慣病の早期対応やコントロールできている患者割合の高さに関連することもあり、重篤な生活習慣病の発症状況(前ページ)と健診におけるリスク因子の有所見者割合(次ページ)と比較しながら解釈することが重要です。

